

幼珠連通信

2010年3月15日発行第217号

全国幼児珠算教育連盟

事務局長 大西 信二

断捨離(だんしゃり)

会長 井上 文克

米寿を迎えまして、今、一番の悩みは書齋が片付かないことです。片付け方の本を色々と読みましたが、去る2月19日に終に私が出来る片付け術にめぐり合いました。ご報告をするとともに、是非一度お出かけくださって、その成果を見てください。その虎の巻をご紹介します。書名・断捨離 2009年12月19日発行、著者やましたひでこ、発行所(株)マガジンハウス 受注センター049-275-1811。

本のカバーに『キッパリと「断」つ。サッパリと「捨」てる。そしてモノから「離」れて、スッキリする。することは、ただ、ひたすら、モノを手放していただけなのですが、断捨離は不思議と、“行動変容”をもたらしめます。時として、人生をも大きく転換させます。転職、離職、転居、引っ越し、結婚、離婚、再婚・・・、それはまるで、知らず知らずに封じ込めていた内在する力を蓋を取り除いて外に出してあげるような、それぞれがもともとに持っていた人生のスタンスに立ち返るきっかけづくりをしているような、もともとの、その人の生命が赤々と燃えるような火をつける、いわばトリガーのような・・・それが断捨離のおもしろいところです。

「だんしゃり」したら・・・●仕事の効率が上がる。●早起きが楽しくなる。●素敵な偶然が増える。●自分を好きになる。・・・等。そう、新しい世界が始まるのです。開かずの段ボール、ギチギチのペン立て、積ん読本。モノを「断」ち、ガラクタを「捨」てれば、執着も「離」れていく。』次に、この断捨離の本文から『私(著者)の仕事は、住まいに溢れるモノたちを見つめ直し、モノとの関係性を問い直しながら、今の自分に「不要・不適・不性」なモノを取り除くための助けやお手伝いをする。結果、住まいが片付き、ついでに心の中のガラクタとも、はい、お別れ・・・。そう、住まいと心のガラクタをコンサルティング・・・という仕事をしています。・・・要するに、片付けを通じて「見える世界」から「見えない世界」に働きかけていく。そのためにとる行動とは、「断」入ってくる要らないモノを断つ。「捨」家にはびこるガラクタを捨てる、です。そして、「断」「捨」を繰り返した結果、訪れる状態を、「離」モノへの執着から離れ、ゆとりある“自在”の空間にいる私。と定義づけます。

断捨離は単なる掃除・片付けとは異なります。「もったいない」「使えるか」「使えないか」などのモノを軸とした考え方ではなく、「このモノは自分にふさわしいか」という問いかけ、つまり主役は「モノ」ではなく、「自分」。「モノと自分との関係性」を軸に、モノを取捨選択していく技術です。』以下省略。

私は88歳の今日から主語は常に自分、そして時間軸は常に「今」。今自分に不必要なモノをひたすら手放し、必要なものを選んでいく作業に取りかかっています。

伝票算検定の意義と成功を願う！

平成14年6月第165回珠算能力検定試験の種目から伝票算が削減され、8年後の今年6月から近畿珠算団体連合会(日珠連)が主催し伝票算検定試験を実施することになりました。

現在 一般社会においても伝票・帳票類は存在し、商品と共に流通経済で活躍しています。日々、私達が買い物をする際に代金の受け取りとして発行される領収書(レシート)や商品の納品書、代金の請求書などの帳票類は存在し活用されています。

また、私達の教室においても、日々の授業料の伝票・教材費の伝票や経費の支払伝票は日々発生し、教材業者から送ってくる教材の納品書・請求書は伝票として綴じ、月毎に集計し、教室の運営する原動力となっています。

どの業種であっても商品の仕入れ、受け渡し、売り上げには伝票が発生し、商品が流通する毎に伝票が発行されます。即ち、一つの製品が生産者から消費者までに流通するまでに数種類の伝票が発行され、この伝票類は各社で一定期間毎に集計して、売上金額・仕入金額として計上し、会計報告がなされます。

当然、伝票での計算が必要であり、電算機・そろばん等を使って速く、正確に集計することが求められます。また、コンピュータ会計の金融機関においても 支店では日々の入金伝票・出金伝票など、伝票計算し、その伝票とともに本店へ送付、本店では各支店から帳票とその伝票を確認し、再度、伝票計算がなされています。ある銀行マンは、「銀行としては伝票計算能力は特に必要で、暗算能力よりも、電卓やそろばんの珠などで、目で確かめて計算する伝票計算の方を重視している」と伝票算の必要性を語っておられる。

その伝票を速く正しく計算する技術を珠算学習者に習得させることは必要なことであり、それが珠算教育の重要性につながり、珠算教育の振興となることでしょう。

私達の教室での珠算指導に於いては、プリント問題での練習が主であった授業が伝票算を導入することによって、授業にも変化を生じることとなります。伝票算を練習することによって、左ひじでそろばんを固定し、左手で問題をめくり、右手で珠をはじいて計算するので、左右の手・指の動作の連係により敏捷性と事務能力を高めることができます。また、みとり算問題がすべて揃いの桁の計算のため、桁違い計算が出来ない欠点を伝票算で補うことができ、珠算教育にはプラス要因でもあります。

さらに、計算速度を高めるために、めくった前のページの写像を浮かべながら計算することもでき、暗算力の養成にもつながります。

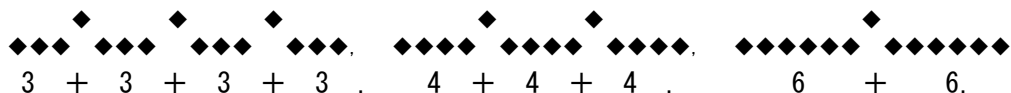
そろばん学習に励む生徒にとって、伝票算検定試験が新たな目標の一つとなり、珠算練習の選択肢も増え、生徒には目標を持たせ学習意欲を一段と高めることとなりましょう。伝票算検定試験の実施が珠算教育の振興につながることを期待するとともに、この検定が当地域だけでなく、全国各地で実施されることを願っています。

ハンガリーのそろばん(下)

算数の授業におけるそろばんの使い方 小学 1 年生

授業回数： そろばんの使用内容とその要点 (39 時間目から 185 時間まで毎時 10~15 分)

- 53: 二つの珠を使ってあらわせる数はなんですか？ (答 2, 6) 珠を 3 つ使うと？ (3, 7)
- 54: 桁を 4 つ使って運指の練習。+8+8+8+8、+1+1+1+1、-1-1-1-1、-5-5-5-5、-3-3-3-3、+9+9+9+9、-9-9-9-9。 9 の分解を学ぶ(省略)
読上算：9 までの数を分解なしで (2+2-3+5、3-1+5-6+2)。
- 55: 暗算による運指の練習。頭の中のそろばんにいくつおきましたか？ (+5、-5、+1、-1、+6、-6) 答えは？2+3+4、4+3+2 などやってみる。4 つ以上の珠を使って表せる数は？ 9 を置くためには 5 の珠に 1 の珠をいくつ足す必要がありますか。ある数を考えています：5 珠と 1 珠をつかいますが、7 より少ないです (6)。
- 56: 「かずあてゲーム」2 桁で 20 より小さく、2 つの珠を使っておける数は (11, 15) ?
- 57: 二桁の数の概念、20 までの数をかぞえる。 2 桁の数を小さい順においてみる (まずは 10~19 までをおいてみましょう)
- 58: 次の数はどの指を使っておきますか：12, 15, 6, 14、実際にソロバンに置かせる。ご破算して、また同じ数をおいてみましょう。
10 の分解をペアフラッシュゲームで練習する。
- 59: 13 を置いてみましょう、どうやっておきますか？ (まず親指で 10 の位に珠を一つ置き、1 の位に親指で 3 を置く) これに珠を一つ加えたら、いくつになりますか (14, 18, 23, 63) ?
- 60: 10 より小さく 6 より大きい、3 つの珠でおける数は？ (7)。その数に 2 つ珠を加えてみてください。いくつですか？ (9)。9 の分解を言ってみましょう。
9 のソロバンカードを選んで 5 珠を指で隠すといくつですか？
では、1 珠をふたつ隠すと？ 5 珠と 1 珠をふたつ隠すといくつになりますか？
- 61: 数さがし：20 より小さい二桁の数を想像しています。珠は 4 つ必要です (13, 17)。
- 62: 数探し：20 より小さい、2 つの珠を使っておける数を想像しています。
自分のそろばんにおいてみてください (11, 15)
- 63: 20 より小さく、3 つの珠を使う、二桁の数を想像しています。そろばんにおいてみてください (12, 16)。答を位取りどおりに分解する。
同じ問題を 5 つの珠を使って解かせる (14, 18)。
- 64: 二桁の数の意味と位取りを使った分解のやり方を 50 まで考える：23, 31, 42, 15。5 の分解をペアフラッシュゲームで練習する。20 までの分解なしの加減算。
- 65: 4 つの定位点を使った運指の練習 (左から右に) : 9-4+2-7+5。
12 を定位点上で 3 つ以上の数に分解してみる：



以上は小学 1 年生の「算数の授業におけるそろばんの使い方」の一部です。以後を必要の方は「考える SZOROBAN 日本普及会」電話 0721-64-0024 迄ご一報ください。

全国幼児珠算教育連盟通信 平成 22 年 3 月 15 日 第 217 号

暗算段位導入練習帳 (兼・暗算準段位問題集) 発行

日本珠算連盟主催の段位認定試験は今年 6 月からの珠算試験と暗算試験とを分離して、実施されることになりました。

今まで、珠算段位試験に並行した形式で暗算試験が行われていたので、珠算段位を主と

して指導され、暗算段位の指導が充分でなかった先生方も多いことと思われます。

珠算段位は能力検定1級の合格者にとって同じ程度の問題であり、数多くの問題を速く計算するよう指導すれば、90点で準初段・100点で初段位と目標を立て練習効果を上げることができます。しかし、暗算段位は暗算1級と問題内容が大きく異なり、暗算1級との能力差があり過ぎます。たとえば、1級のみとり暗算では3桁10口の問題であるが、段位では6桁10口の問題であり、3桁から6桁の差は大きく、暗算段位を受験させるには、段位への段階的導入問題をこなすことが必要です。

このたび、暗算1級を合格し、さらに暗算能力を伸ばして暗算段位を目指す生徒諸君のために、計算方法付の暗算段位導入練習帳を発行しました。生徒諸君には「暗算準段問題集」として利用できるように目標をたて、1級問題から段位問題へと進められるように編集しました。なお、紙面の都合上、かけ暗算はA法のみを算術説明となりました。

暗算段位導入練習帳 内容

- P1～3. かけ暗算 3桁×3桁＝ 4桁×2桁＝ 2桁×4桁＝
の計算方法と練習問題
P4～6. わり暗算 ÷3桁＝3桁 ÷2桁＝4桁 ÷4桁＝2桁
の計算方法と練習問題
P7～10. みとり暗算 4桁 5桁 6桁 10口問題
の計算方法と練習問題
P11～P40. 第1回～第15回計算問題
P41～P44. 第1回～第15回解答

各回数
の計算問題内容(各種目とも制限時間4分)

乗暗算問題	3桁×2桁・8題、2桁×3桁・7題、4桁×2桁・5題
除暗算問題	3桁÷3桁・5題、2桁÷4桁・5題、計30題
見暗算問題	3桁10口加算3題、3桁10口加減算2題、4桁10口加算3題、 4桁10口加減算2題、5桁10口加算3題、5桁10口加減算2題、 6桁10口加算3題、6桁10口加減算2題、計20題

全国幼児珠算教育連盟通信

平成22年3月15日 第217号

教室と活性化させる方法

教室などで年に数回、全生徒が集い、マスゲーム(mass-game)のように、生徒全員が楽しんで一斉に、「あんざん」で計算問題を行う「計算トランプ」です。

計算トランプA (TRAMP・A) 80枚

「かけ算問題」・「わり算問題」・「加算問題」・「加減算問題」の答えが同じの4枚を1セットとして、20種類で80枚の計算カード。

計算カード問題の内容：どの生徒にも計算できるような暗算の基本的な問題。

「かけ算問題」は2桁×1桁＝、「わり算問題」は÷1桁＝3桁

「加算問題」は2桁の3口、「加減算問題」は2桁の3口(内1口は減算)で、答えはどれも3桁で、4枚とも同じ答。

例：

$61 \times 2 =$	$732 \div 6$	$\begin{array}{r} 53 \\ 27 \\ 42 \end{array}$	$\begin{array}{r} 96 \\ -58 \\ 84 \end{array}$
答えのカード		122	

計算トランプB (低学年用TRAMP・B) 80枚

かけ暗算・わり暗算を習得していない、低学年用(幼年用)計算トランプBです。

「たし算問題」・「ひき算問題」・「4口加算問題」・「4口加減算問題」の答えが同じの4枚を1セットとして、20種類で80枚の計算カード。

計算カード問題の内容：低学年の生徒にも計算できるような加減算の問題。

内容：「たし算問題」は2桁+1桁＝、「ひき算問題」は2桁-1桁＝

「加算問題」は1桁の4口、「加減算問題」は1、2桁の4口(内1口は減算)

で、答えはどれも3桁で、4枚とも同じ答。

例：

$23+7=$	$62-32=$	$\begin{array}{r} 8 \\ 9 \\ 6 \\ 7 \end{array}$	$\begin{array}{r} 31 \\ 4 \\ -6 \\ 1 \end{array}$
答えのカード		30	

使用方法（一例）

1. 机を教室の中央にあわせて机の上、または、床で行う。
2. 生徒が囲む机や床の上に計算トランプ80枚をランダムに並べる。
3. 先生が答カード20枚からランダムに取り上げて、「答え」を言う。
4. 生徒は並べられた計算トランプを計算し、先生の宣言した「答え」のトランプを探し、そのトランプを先生に渡す。
5. 先生は、その該当するトランプであれば、「正解1番！」と宣言し、そのトランプを正解者に配布。
もし、間違えであれば、そのトランプを元の間へ戻す。（ペナルティー）
6. 「正解2番！」「正解3番！」「正解4番！」と4枚の正解トランプで終了。
7. 次の答えカードから「答え」を宣言して、同様に行う。
8. 並べているトランプが少なくなれば、終了を宣言し、各生徒が手にしたトランプの数の順に表彰をする。

計算トランプの利用方法

紅白競算

1クラスの生徒を2分して、紅くみ・白くみに分かれて紅白競算をする。

1. 参加する生徒数に応じて、使用する計算トランプの数を考慮する。
30名以上の場合、80枚（20種類×4種目）、
20名までの場合、40枚（10種類×4種目）
※ 生徒の暗算力習得程度に応じて使用する種目のトランプを制限する。
たとえば、×暗算・÷暗算の種目を除いて2種目で行う等。
2. 紅白の得点により、ゲームを盛り上げ、正解のトランプの問題を先生が読み上げ 生徒全員で計算して、正答を確かめると良い。
3. 計算トランプの枚数を紅白別に集計して、勝敗を決する。

グループ競算

クラスを5名ずつの少人数に分け、各チームにリーダーを決めて先生役を命じる。

1. 各チームのリーダーに20枚（5種類×4種目と答えカード5枚）を配布する。
2. リーダーが計算トランプを生徒4名の前の机に広げる。
3. リーダーの答えの宣言で、各生徒は計算トランプを計算して、トランプを選ぶ。
4. リーダーが計算トランプの答えを確認して、正解であれば得点を与える。
5. 机上のトランプが無くなれば終了。リーダーが各生徒が獲得した枚数で順位をつけ、先生に報告する。

種目別競技

- ①加算 ②加減算 ③かけ算 ④わり算のトランプ毎に種目毎に実施する。
1. 机上に20枚の加算トランプを広げて、先生が、その答えを宣言すると、生徒は、加算問題を暗算で行い、そのトランプを見つけ出し、先生に提出。
 2. 先生は、生徒の提出したトランプを読み上げて、正解であればその生徒の得点となる。
 3. 生徒は取り上げたトランプが誤算であれば、ペナルティーを課す。
 4. 机上にトランプが無くなれば、終了。枚数により順位をつける。
 5. 次に 加減算のトランプで同様に行う。(かけ算・わり算も同様に実施)

大小競算

- クラスを5名ずつの少人数に分け、各チームにリーダーを決める。
1. 各チームのリーダーに20枚(5種類×4種目)を配布する。
 2. リーダーに先生役を命じ、リーダーが各生徒に計算トランプを5枚ずつ配布。
 3. リーダーのかけ声で、各生徒は5枚の中から1枚を一斉に前の机へ出す。
 4. 全員で計算して、数の大きい方が勝ちとなり、その生徒が勝ち点1となる。
 5. つぎに同様に5回戦を行い、各生徒が計算しながら、大小で勝ち負けを決する。

珠 呟 しゅげん - 70 -

自塾さえよければいいという

考えはやめましょう。

私達の教室は自分一人では十分な教育活動ができません。そのために、各地の珠算協会や珠算連盟に属しています。珠算仲間が会議所等に集い、会員同士の親睦と共に研鑽し、検定事業や競技大会事業等を始め、各地域の珠算教育の振興を目指して珠算教育推進事業に当たっています。

仏教国・タイで医療ボランティア活動をしている方が語る言葉の中で、タイの僧侶は民衆に、「地獄」と「極楽」との違いについて次のように説いているそうです。

地獄にも極楽にも食堂があり、テーブルにはごちそうがいっぱい並んでいます。そしてテーブルには2本もある長い箸が置いてあります。

地獄ではみんながこの箸を使って、われ先にごちそうを食べようとするが、箸が長すぎるために口に入れることができず、ごちそうの山を目の当たりにしながら、くやしそうな顔

をしています。一方の極楽では、長い箸でごちそうをつかみ、向かいの人の口に入れてあげているので、誰もがごちそうをたっぷり食べて、にこにこしているということです。

このように同じ箸を使うのでも、極楽食堂では誰もが、自分のためではなく、人のために使っているので、みんなが幸せに暮らしています。けれども、地獄食堂ではみんなが自分さえよければいいんだという利己的な生き方をしているので、不幸に陥っています。

「自分の教室の運営がうまくいけば、それでよい」という考えで、自分のことだけを考えていけば、珠算教育界はやがて沈滞して消滅することでしょう。珠算教育界を視野に入れて、仲間が互いに助け合い協力し合って、珠算教育がなされなくてはなりません。

この数年前から近畿地方の日珠連・全珠連・全珠学連の三団体が一つになり、各会員から協賛金で、テレビ等のマスメディアを使って、珠算教育の広報活動に努めています。また、10年前から各小学校へ珠算教育振興活動として、そろばん学習補助教材「たのしいそろばん」を無償で提供し、さらに、出前授業という形で珠算教師を派遣するボランティア活動を行っています。今年も2月から3月にかけて、全国各地の先生方が手分けして小学校への支援活動を行っています。珠算教育関係者は忙しい中を学校支援活動を行っている先生方への 励ましと協力を忘れないようにしたいものです。

2010. 3. 15 No.217

唐代の名跡「雁塔聖教之序」の誕生

日本書芸院参事 瀬戸 白鳳

掲載の写真はその冒頭の部分である。当時としては、斬新な書風であったと思う。筆者は「褚遂良(ちよすいりょう)、撰文は唐の「太宗皇帝(たいそうこうてい)」、この聖教に序文を願ったのは、「玄奘(げんじょう)三蔵法師」である。三人三様に今から、およそ1400年前、初唐の時代に活躍した人たちです。

読者は、この三人をご存じだろうか? 「褚遂良」は太宗皇帝に仕えた官僚であり初唐の三大書家の一人。当時、弘文館と呼ばれた貴族子弟の官吏教育所の先生。また、諫言の人。書の鑑定には定評があった。「太宗皇帝」大唐帝国300年の礎を築いた、文武両道に優

れた手腕を発揮。特に、東晋の書聖王羲之の書蹟を愛し収集し、書道の発展に尽力した。標題の雁塔聖教に対する序文は太宗の撰文であり、文章も素晴らしく、仏教にもその造詣の深さが窺い知れる。

「玄奘三蔵法師」は後世、明朝の時代に書かれた中国奇書の一つ「西遊記」のモデルとなった人物である。物語では、太宗皇帝より白馬を賜り、孫悟空、猪八戒、沙悟浄を共に意気揚々と天竺求道の旅に出るのだが、事實は、秀才だった玄奘は唐国内での仏教の奥義はすべて知り尽くし、この上にも研究を深めようとするれば、仏教発祥地である天竺(インド)へ行って学ぶしかなかった。当時国外への旅行は禁止されていた。国禁を犯し、密出国したのは法師26歳。17年間の修行の後、帰国するが、聡明であると同時に、西域の諸国事情にも詳しく、太宗皇帝に手厚く迎えられた。持ち帰った経文を漢訳をする傍ら、「大唐西域記」を手がける。「般若心経」も彼の漢訳になる。

常すね、漢訳に対する序文を太宗皇帝にお願いしていたが、遂に、その名文を頂くこととなる。同時に勅命で褚遂良が揮毫する。細い筆線に弾力があり、彼の人となり良く出て、傑作であろう。

太宗皇帝は書を愛し、仏教を信奉していた。玄奘三蔵は仏教の奥義を求めた。褚遂良は書を良くし、太宗皇帝の良き相談相手だった。褚遂良・太宗・玄奘三蔵の出会いがあったからこそ、名跡「雁塔聖教之序」が誕生し、そして今日にまで伝わった。現在は陝西省西安(昔の長安)市の慈恩寺の大雁塔の龕に嵌め込まれている。

誠に、人生は出会いであり、出会いは人生であろう。